

# Sidecar のリブートが発生する SPA9xx シリーズの電話機

## 目次

### [概要](#)

[SPA932 を備えた SPA962 電話はなぜランダムにリブートしていますか。](#)

### [関連情報](#)

## 概要

このドキュメントは、Cisco Small Business 製品のセットアップ、トラブルシューティング、およびメンテナンスを支援する一連のドキュメントの 1 つです。

### Q. SPA932 を備えた SPA962 電話はなぜランダムにリブートしていますか。

A. SPA962 に接続されているサイドカー ( SPA932 ) は、IP 電話がランダムにリブートする原因ではない可能性があります。ランダムなリブートに関する問題を切り分けるために試行できる事柄がいくつかあります。

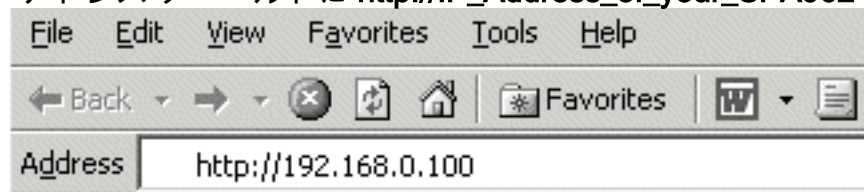
### スイッチの交換

可能であれば、SPA9xx 電話が接続されているスイッチを交換することができます。また、ケーブルおよび LED ライトをチェックして、SPA9xx の物理的な接続を確認することも推奨します。

### プロビジョニングの無効化

SPA962 のプロビジョニングを一時的に無効化し、それがリブートの原因となっているかどうかを確認することができます。

1. SPA962 IP アドレスを確認します。IP アドレスは、IP 電話の LCD 画面から確認できます。  
。 [Setup Button] を押し、9 を押します。LCD 画面には現在の IP アドレスが表示されます。
2. ブラウザを起動し、アドレス フィールドに `http://IP_Address_of_your_SPA962` と入力し、



Enter を押します。これで、NAT 用の SPA962 を設定する準備が整いました。Web インターフェイスがユーザ名とパスワードを要求する場合、プロバイダーによってユニットがロックされていることを意味します。個別の VoIP プロバイダーに連絡し、支援を受けてください。

3. [Admin Login] > [Advanced] に移動し、[Provisioning] タブをクリックして、[Provision Enable] を [no] に設定します。

**SIPURA**  
technology, inc.

Sipura Telephone Configuration

Info System SIP **Provisioning** Regional Phone Ext 1 Ext 2 User

User Login basic | advanced  
Personal Directory Call History

**Configuration Profile**

Provision Enable:	no	Resync On Reset:	yes
Resync Random Delay:	2	Resync Periodic:	3600
Resync Error Retry Delay:	3600	Forced Resync Delay:	14400

[Submit All Changes] をクリックします。

## SPA のデバッグと Syslog の設定

SPA962 はデバッグ情報を syslog 経由で syslog サーバに送信します。リポートの原因を特定するために、SPA9xx で SIP パケットをキャプチャすることを推奨します。デフォルトでは、ポート 514 が使用されます。

1. SPA962 Web ユーザ インターフェイスにアクセスします。前述の手順を実行します。
2. [Admin] > [Advanced] に移動し、[System] タブをクリックして、[Debug Server] に syslog サーバの IP アドレス (つまり、x.y.z.w: ポート) を設定します。この IP アドレスは、SPA デバイスから到達可能である必要があります。デバッグレベルを 3 に設定します。

**Optional Network Configuration**

HostName:	Jamo	Domain:	
Primary DNS:		Secondary DNS:	
DNS Server Order:	Manual	DNS Query Mode:	Parallel
Syslog Server:		Debug Server:	192.168.0.100
Debug Level:	3	Primary NTP Server:	
Secondary NTP Server:			

[Submit All Changes] をクリックします。

3. SIP シグナリング メッセージをキャプチャするために、[line] タブで、[SIP Debug Option] を [full] に設定します。ファイルの出力は「syslog.514.log」です。

**SIP Settings**

SIP Port:	5060	SIP 100REL Enable:	no
EXT SIP Port:		Auth Resync-Reboot:	yes
SIP Proxy-Require:		SIP Remote-Party-ID:	no
Referor Bye Delay:	4	Refer-To Target Contact:	yes
Referee Bye Delay:	0	SIP Debug Option:	full
Refer Target Bye Delay:	0	Sticky 183:	none

**Call Feature Settings**

Blind Attn-Xfer Enable:	no	MOH Server:	
Message Waiting:	no	Auth Page:	
Default Ring:	1	Auth Page Rec:	
Conference Bridge URL:		Auth Page Pas:	
Mailbox ID:		Voice Mail Server:	
State Agent:		CFWD Notify Serv:	no

[Submit All Changes] をクリックします。注: PC のファイアウォールがポート 514 をブロックしていないことを確認します。

## 関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)